

みずほCustomer Desk Report 2017/08/03 号(As of 2017/08/02)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	110.45 AUD/USD
TKY 9:00AM	110.44	1.1811	130.45	0.9654	1.3213	0.7957
SYD-NY High	110.98	1.1910	131.40	0.9714	1.3250	0.7993
SYD-NY Low	110.25	1.1794	130.24	0.9649	1.3190	0.7941
NY 5:00 PM	110.75	1.1856	131.29	0.9713	1.3223	0.7966
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	8.665/9.065		△25RR	1.070	Yen Call Over	

NY DOW	22,016.24	52.32	債券市場	日本2年債	-0.1130	-
NASDAQ	6,362.65	▲ 0.29		日本10年債	0.0780	-
S&P	2,477.57	1.22		米国2年債	1.3590	1.8bp
日経平均	20,080.04	94.25		米国5年債	1.8256	2.6bp
TOPIX	1,634.38	5.88		米国10年債	2.2710	1.8bp
シカゴ日経先物	20,075.00	60.00	為替市況	独10年債	0.4860	▲0.5bp
ロンドンFT	7,411.43	▲12.23		英10年債	1.2360	2.3bp
DAX	12,181.48	▲69.81		豪10年債	2.7040	▲1.0bp
ハンセン指数	27,607.38	67.15		USD/CNH	6.7298	▲0.0001
上海総合	3,285.06	▲7.58		ドルインデックス	92.84	▲0.21
USDJPY 3M Vol	9.00	0.05%	商品市況	CRB指数	181.982	1.23
USDJPY 6M Vol	9.21	0.03%		NY金	1,278.40	▲1.00
EURJPY 3M Vol	9.53	▲0.03%		WTI	49.59	0.43
EURJPY 6M Vol	9.72	▲0.00%		Dubai Spot	50.34	▲1.05

東京	ドル円はオセアニア時間に安値110.25をつける局面があったものの、引き続き110円台前半では相応に買い意欲があると意識される中、110.44レベルまで買い戻されて東京時間オープン。前日に米株が史上最高値を5営業日連続で更新したことが好感されて高寄りした日経平均株価が2万円台で堅調に推移したことに加え、米金利が小幅ながら上昇したことにもサポートされ、ドル円は110.40-50近辺で堅調推移。午後に入りユーロ円が直近高値130.76を上抜けるとドル円は110.70近辺まで連れ高となった。その後、ドル円は一旦110.60台で推移するも、ユーロ円がストップを巻き込みながら再び上げ幅を拡大して約1年半ぶりに131円台まで上昇する中、ドル円は110.93の東京時間高値をつけた。但し、海外時間に米7月ADP雇用統計等の発表を控えていることから111円台を回復するには至らず、ドル円は引けにかけては小緩んで110.72レベルにて海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、110.72レベルでオープン。米7月ADP雇用統計の発表を控え様子見ムードの中、横ばい。110.76レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3210レベルでオープン。英中銀金融政策委員会(スーパーサースデー)を明日に控え、幼派の内容を期待する向きから前日高値と同水準(1.3245)まで上昇。しかし、発表された英7月建設業PMIが11ヵ月ぶりの低水準となる51.9となったことから反落。その後は、EIA週報の内容を見極めたいとの声も聞かれる中、米金利が上昇したこと、1.3221レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1820レベルでオープン。一目均衡表が三役好転(転換線)基準線、現在のレート>雲、逆行スパン>日々線の条件が揃う強い買いシグナルを示す中、約2年半ぶり高値圏まで上昇するも、金融機関大手の4-6月期決算内容やユーロ圏6月PMIが前月比マイナス0.1%となったこと等を受けて反落。好調な米4-6月期決算等を背景に米株が連日史上最高値を更新していることもドル買い戻しを誘い、1.1827レベルまで弱含んでNYに渡った。
ニューヨーク	ドル円は110.76レベルでNYオープン。朝方は米7月ADP雇用統計が予想を下回る一方、前回分が上方修正される強弱混在の内容にドル円の反応は限定的となるが、米金利が上昇したこと、110.98の高値まで上昇した。その後、前日引け後に発表された米電気大手の予想を上回る4-6月期決算結果を受けて初の22,000円台まで上昇していたタウが利益確定の売りに反落する展開に、ドル円は売りが優勢となり110.29まで下落。午後は新規材料を欠く中、ポジション調整からドル買いが優勢となり、じり高で推移。結局、ドル円は110.75レベルでクローズした。一方、ユーロドルはテクニカルな買いに海外市場で1.1869まで上昇したが、ユーロ圏6月PMIが引き続きマイナスであったことなどから利食い売りが持ちこたれ、1.1827レベルでNYオープン。朝方は1.1830付近での推移が続くが、米金利低下を受けたドル売りが優勢となったことや欧州への投資意欲も意識され、1.1871まで上昇する。午後は特段のニュースが見当たらない中、ユーロ買いが再び強まると1.1910の高値まで上昇。その後は調整から反落し、1.1856レベルでクローズした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 福田・坂本

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月2日	10:30	豪 住宅建設許可件数(前月比/前年比)	6月 10.9%/-2.3%	1.0%/-11.0%
	18:00	欧 PPI(前月比/前年比)	6月 -0.1%/2.5%	-0.1%/2.5%
	21:15	米 ADP雇用統計	7月 178K	190K
8月3日	0:00	米 メスター・クリーブランド連銀総裁 講演	-	-
	4:30	米 ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁 講演	-	-

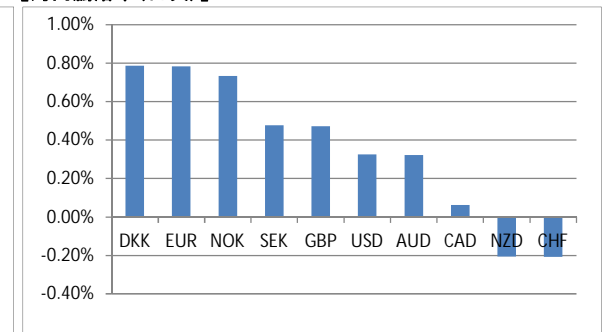
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月3日	8:50	日 対内・対外証券投資	-	-
	10:30	豪 貿易収支	7月 A\$1,800M	A\$2,471M
	10:45	中 Caixin PMI(コンポジット/サービス業)	7月 -/-	51.1/51.6
	16:55	独 マークイットPMI(コンポジット/サービス業)・確報	7月 55.1/53.5	55.1/53.5
	17:00	欧 マークイットPMI(コンポジット/サービス業)・確報	7月 55.8/55.4	55.8/55.4
	20:00	英 政策金利/資産購入目標	8月 0.250%/£435B	0.250%/£435B
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 243K	244K
	22:45	米 マークイットPMI(コンポジット/サービス業)・確報	7月 -/54.2	54.2/54.2
	23:00	米 ISM非製造業景況指数	7月 56.9	57.4
	23:00	米 製造業受注指数	6月 3.0%	-0.8%
	23:00	米 耐久財受注(前月比)・同(除く輸送用機器・前月比)・確報	6月 0.0%/-	6.5%/0.2%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.30-111.30	1.1800-1.1900	130.50-132.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外時間のドル円相場は、アジア時間の流れを引き継ぎ110.98まで上昇する局面はあるも、米株が利益確定売り等で上値を押さえられる動きに111円突破には至らなかった。なお、米7月ADP雇用統計は市場予想を下回った一方、前月分が上方修正されたため、市場への影響は限定的だった。本日は、米7月ISM非製造業景況指数や同6月耐久財受注等が発表になるため注意しておきたいが、足元の市場の焦点は明日の米7月雇用統計だろうから、基本的には小幅な値動きを予想している。